



あいおいニッセイ同和損害保険（株）より寄附 交通事故リスク「見える化」マップ

6月22日生涯学習館で、あいおいニッセイ同和損害保険（株）様からの交通安全マップ贈呈式が行われました。これは、自動車保険契約車両の走行データを基に、事故のリスクに応じて6段階で色分けしたマップを市内小中学校へ配布するもので、交通安全教育に活用されます。教育長は「子どもたちに危険を予測し、自分の命は自分で守るという意識を育てほしい」と話しました。



▲（左から）伊藤教育長、あいおいニッセイ同和損害保険（株）栃木支店 大田原オフィス 大場課長

団員一丸となって災害に備える 消防団夏季放水訓練

6月27日矢板小学校校庭で、市消防団による夏季放水訓練が実施されました。これは、団員の放水技術の向上や基本動作・連携の確認を図り、災害時に安全かつ確実な活動ができるよう実施しているものです。当日は各分団による放水点検が行われ、市長は「災害時に備え、さらに技術を磨いてほしい」と講評するとともに、仕事や家庭と両立しながら活動する団員へ感謝の言葉を送りました。



地域と育む交通安全の心 七夕飾りに願いをのせて

7月6日泉小学校で、交通安全七夕飾りが設置されました。これは、矢板地区交通安全協会泉支部が交通安全への意識向上を目的に、泉小児童のほか矢板警察署や地域の皆さんと協力し、実施したものです。児童たちは「事故が起きないように」「警察官になれますように」など、交通安全への願いや将来の夢を書いた短冊を笹竹に飾り付けました。



高校生と一緒にスキルアップ！ 小学生対象のバスケ教室開催

6月28日矢板中央高校体育館で、小学生の女子ミニバスケットボールチームを対象とした「BURNING CLINIC IN YAITA」が開催されました。当日は、矢板中央高校女子バスケットボール部の協力の下、バスケ教室やミニバス大会を実施。企画した地域おこし協力隊の坂和隊員は「地域や子どもたちのために活動したいという高校生の想いを形にできてうれしい」と話しました。



高校生が大会運営をサポート サッカーでつながる地域交流イベントを開催

7月4・5日、とちぎフットボールセンターや運動公園などを会場に、県内外から30チームが参加するサッカー大会「U-12 BURNING CUP IN YAITA」が開催されました。これは、地域おこし協力隊の坂和隊員を中心に企画されたスポーツ交流事業の一環で、矢板中央高校サッカー部も運営に協力。審判や試合後のフィードバックを担当し、子どもたちの成長を後押ししました。グルメイベント「Eat de Meet」も同時開催され、会場は多くの人でにぎわいました。



家族との時間を大切に 「家庭の日」普及啓発活動に関する協定締結

7月17日市役所で、（一社）倫理研究所様と家庭の日の普及啓発活動に関する協定締結式が行われました。この協定は、毎月第3日曜日の「家庭の日」を通して、家庭の役割への理解を深め、家族が触れ合う機会を増やすことを目的としたものです。会員企業へ家庭の日の休業やノー残業デーの実施を働きかけ、家庭を大切にする職場環境づくりを進めます。市長は「子どもたちが健やかに育つ環境づくりをさらに推進していきたい」と話しました。



▲（左から）森島市長、（一社）県那須野ヶ原矢板倫理法人会 高橋会長

生涯学習フェスティバル スピンオフ企画 “かわいい”を探究！「美・探・SUN」

7月4日文化スポーツ複合施設で、「美・探・SUN」が開催されました。これは、プロのヘアメイクやアイドルなどをゲストに迎え、「美」について学ぶことを目的に企画されたイベントです。当日は、やいた応援大使の藤田真奈アナが司会を務め、矢板東高校リベラルアーツ同好会による探究発表のほか、ヘアメイク・山本 隆太氏によるメイクの基礎講演やアイメイク体験が行われました。参加者は「メイクをしている間、みんな笑顔だった。外見だけでなく、内面にも良い影響があったと感じた」と話しました。



▲山本氏による矢東高生へのメイク基礎実演



▲アイドルグループ・オトメリアによるライブパフォーマンス



▲共催の東色ピグメント（株）スタッフによるメイクアイテムの説明



▲矢板東高 リベラルアーツ同好会による探究発表